

はじめに

我が国は、世界で戦争による唯一の被爆国であり、核の恐ろしさや戦争の悲惨さを実感している国であります。

第二次世界対戦後、我が国は、平和憲法と国民の努力などによって、平和な国を築いてきました。

今、戦争を知らない世代が過半数を占め、過去の暗く、苦しかった時代の意識も、めざましい経済発展のなかで年々風化する傾向にあります。

一方、世界では、たえず地域紛争や民族紛争、宗教紛争などで多くの人たちが傷ついています。また平成七年（一九九五年）から平成八年（一九八三年）にかけて、中国やフランスは世界の人たちが反対するなか核実験を繰り返しました。

世界平和の実現には、「人権の尊重」と一人ひとりが「戦争をなくし平和を求める」気